

令和4年度第1回横浜市保健医療協議会会議録	
日 時	令和4年8月29日（月）19時00分～19時51分
開催場所	横浜市役所18階みなと1・2・3会議室
出席者	石川ベンジャミン光一委員、叶谷由佳委員、田原恵委員、伏見清秀委員、宮城悦子委員、山本龍生委員、齊藤悦子委員、佐伯隆史委員、坂本悟委員、田中博章委員、辻村陽子委員、中村雅一委員、松井住仁委員、水野恭一委員、溝呂木啓之委員、山口道宏委員、吉田直人委員
欠席者	稲田健委員、白川敏雄委員、八亀忠勝委員
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	<p>1 議題</p> <p>（1）会長・副会長の選出について</p> <p>（2）「よこはま保健医療プラン2024」の策定について 【資料1】</p> <p>（3）令和4年度病床整備事前協議について 【資料2】</p> <p>2 報告</p> <p>（1）「よこはま保健医療プラン2018」2021年度単年度振り返りについて 【資料3】</p>
決定事項	
議 事	<p>1 開会（定足数、傍聴人の報告、議事録の作成、局長あいさつ及び委員紹介）</p> <p>2 議題</p> <p>（1）会長・副会長の選出について</p> <p>（事務局山本課長）議題（1）会長・副会長の選出です。当協議会運営要綱第5条では、協議会に会長及び副会長をそれぞれ1人置くこと、会長は委員の互選により定めることになっておりますが、どなたかご推薦はありますでしょうか。</p> <p>（水野委員）前回と同様に、伏見委員に会長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">[一同了承]</p> <p>（事務局山本課長）それでは、伏見委員に会長をお願いしたいと思います。これからの進行は伏見会長にお願いいたします。</p> <p>（伏見会長）[就任あいさつ]</p> <p>当協議会の要綱第5条の2によりますと、副会長は会長が指名することとなっておりますので、前回に引き続き横浜市医師会会長の水野委員をお願いしたいと思います。水野委員、いかがでしょうか。</p> <p>（水野委員）はい。</p> <p>（伏見会長）それでは、水野委員、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>（2）「よこはま保健医療プラン2024」の策定について 【資料1】</p>

(事務局山本課長) [議題(2)について説明]

(伏見会長) ただいまの説明についてご質問・ご意見等がありますでしょうか。

(委員) [意見なし]

それでは、よこはま保健医療プラン策定検討部会に関しまして、設置するという  
ことで進めていきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。先ほど事務局から  
私を部会長にというご提案がありました、皆様、ご意見いかがでしょうか。

(委員) [意義なし]

(伏見会長) それでは、私が部会長を務めたいと思えます。部会の委員につきまし  
ては、会長が指名する者をもって組織するとございますので、事務局と相談しなが  
ら進めていきたいと思えますので、よろしくお願ひいたします。

(3) 令和4年度 病床整備事前協議について【資料2】

(事務局高橋課長) [議題(3)について説明]

(伏見会長) 令和4年度の病床整備事前協議については、基準病床数の範囲内で、  
公募により病床を配分するとの説明がありました。373床ですね。これについてご  
意見・ご質問等ありましたらお願ひいたします。

(松井委員) 病床のことなので病院協会として、第1回横浜地域地域医療構想会議  
のときに、373床について今回については認めるとお話しさせていただきました。  
ただし、今、横浜市の病院に大体2万3000床ぐらゐるのですが、そのうち1割ぐ  
らゐが動いてゐないんですね。説明にありましたように、21ページの赤く囲ってゐ  
る横浜のところですが、2040年に入院患者さんの数が約112%と約1割増えるとい  
うことなので、今、空床が1割あるのでそこで十分埋められるのではないかという  
のが横浜市病院協会の考え方です。特に373床に対して反対してゐるわけではあり  
ませんが、十分足りてゐるのではないかと考えてゐます。それぞれ病棟の機能が別  
になってゐますので、その機能を融通し合えばある程度できるのではないかと思  
います。そんなにたくさんは要らないのではないかというのが病院協会の意見でござ  
います。よろしくお願ひいたします。

(事務局高橋課長) 松井委員のご意見に対して、病院によっては現状でも満床に近  
い状態で運営してゐる病院もございますし、今後の医療需要の伸び、将来の医療需  
要の伸びに備えて少しずつでも整備してゐたいというのが事務局としての考え方  
になります。

(伏見会長) ありがとうございます。ほかにはご意見ないでしょうか。

(委員) [意見なし]

(伏見会長) これまでいろいろな会議で議論がありましたので、慎重に進めること  
が前提になりますが、当協議会としては、令和4年度は病床整備事前協議の対象と  
すべきであるという意見を横浜市に報告することにいたします。よろしいでしょ  
うか。

(委員) [異議なし]

(伏見会長) ありがとうございます。それでは、事務局は検討を進めていただきたいと思います。

次いで部会の設置ですけれども、当協議会運営要綱第7条2項及び4項では、部会の構成員及び部会長は会長が指名することとなっております。部会長につきましては、前回の経験を踏まえて石川委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員) [異議なし]

(伏見会長) 石川委員、どうぞよろしく願いいたします。

次に、部会については原則公開となりますが、当協議会運営要綱第8条により、委員の承諾があれば会議の全部を非公開とすることができるとなっています。公開することで率直な意見の交換もしくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあることや、特定の医療機関に不利益を及ぼすおそれがある情報を扱うことから、部会については非公開の扱いとさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員) [異議なし]

(伏見会長) それでは、今年度の部会は非公開とさせていただきます。

続いて部会の構成員について、事務局から提案がありますでしょうか。

(事務局高橋課長) 昨年度と同様に、医療関係団体や有識者など、部会長を含めた7名程度にしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(伏見会長) 部会長以外の構成員については会長に一任いただく形で決めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員) [異議なし]

(伏見会長) それでは、石川部会長と相談して選任させていただきまして、別途ご報告させていただくことといたします。どうもありがとうございます。

### 3 報告

(1) 「よこはま保健医療プラン2018」2021年度単年度振り返りについて【資料3】

(事務局山本課長) [報告(1)について説明]

(伏見会長) 事務局の説明についてご質問などありましたらご発言をお願いいたします。

(松井委員) 4ページの一番上の特別養護老人ホームの整備ですが、数はかなり近いけれど全部はできなかつた。そういう意味ではC評価なのかもしれませんが、出来上がったところも、1年たっても空床がいっぱいあるのです。要するに介護する人がいないので、入れたくても入れられない。そういうところが多くあるので、つくり過ぎているのではないかと思います。また、外国人スタッフに来てもらって

いるところも結構あるのですが、これがコロナのために来られなくなってしまった。だから、コロナの影響は小ではなくて、大、中ぐらいなのではないかと思えます。協会としては、これだけつくっていただければいいのではないかと思うので、そんなに卑下しないで、私の感覚では十分B評価ぐらいやっているのではないかと思えます。

(事務局佐藤(泰)部長) 特別養護老人ホームにつきましては、今計画の間は毎年450人分の新規整備というふうに進めさせていただいております。本来であれば順調に進んで定員も満たすことが望ましいところですが、今、先生からご指摘がありましたように、横浜市としても介護人材の確保に向けてはいろいろ手を尽くして努力させていただいております。その中で、やはり外国人の受入れもかなり力を入れてやってきておりました。残念ながらコロナの影響を受けてご指摘どおり思うように入ってこないということがあります。ただ、徐々にコロナも落ち着きつつありまして、外国人の入国もだんだん増えてきていることもありますので、今後はまたさらに人材の確保についてはよくなるのではないかと期待しております。また、整備については、今計画については予定どおり進めさせていただきますが、今後につきましては、高齢化の進展や、サービスに対する市民のニーズなどを十分に見極めた上で、適正な数を整備していくということで進めさせていただきたいと思っております。

(水野副会長) いくつつくったかという評価が多いですが、本当は内容を評価すべきだと思います。例えば今言った医療施設を、税金を使ってつくって利用率はどうかとか、認知症の人の早期発見とか今いろいろなことをやっていますよね。どれだけ早期発見できて、どれだけの認知症の人の早期治療が始まったのかとか、本当はその内容の評価を伴って評価すべきだろうと私は思います。あまりにも数がいくつで、何人検査しなければいけないとか、そうではなくて、その中で肝炎や何かもどれだけ見つかったとか見つからないとか、そういうところまでの内容を入れないと、本当にその事業の有効性というか効率性、費用対効果が出てこないのではないかと思うので、事務局は大変かもしれませんが、本当はこの評価というのはそこで決まるのかなと思っています。

(事務局山本課長) 先生にご指摘いただいたように、振り返ってみると件数や人数で測っていくことが、行政の計画の中で比較的多いと思います。アウトプットがどれくらいあったかということですが、それを受けて効果がどうだったかという指標みたいなつくり方もなかなか難しいのですが、次期の計画をつくるときはそういう視点も、振り返りのときにきちんとできるような指標についても、部会の先生方の意見を伺いながら工夫していきたいと思えます。

(水野副会長) 統計も大事なのですが、現場感覚はそれよりも速く、統計の結果が出る前に肌感覚というのがあると思えます。推計というのは例えば人口にしてもずれてきているわけですね。推計はあくまでも推計なので、現状の、現場での意見

	<p>を聴いてどうするかということも、やはり計画や何かの中では大事なかなと思います。社会現象と、そのとき書かれていた推計との違い、乖離というのが絶対出てくるわけです。現場でやっている人間たちの肌感覚というのは、後になるとやはりその方向にベクトルが向いていくことが結構あるので、現場サイドとの話し合いというのを重要にして計画を立てていただきたいと思います。</p> <p>（事務局山本課長）計画をつくるときは、データに基づく、エビデンスに基づくということで推計してつくっていきますが、ご指摘のとおり、参考にする資料自体、統計データ自体は結構前のものということが多い場合もございます。もちろんデータによって推計は立てますが、医療においても臨床の現場の先生方が診察していて感覚的に分かるものの情報もすごく大事だと思っていますので、これも同じく次のよこはま保健医療プランをつくるに当たっては、臨床の先生方、関係団体の方の、委員の皆さんの声をお聞かせいただきながらつくっていきたいと思っております。</p> <p>（松井委員）先ほど介護する人がいないという話をしましたが、これから第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画において450人分ずつ新規整備をしていくと、さらに介護する人がいないんですね。その辺、考えていただきたいと思います。特別養護老人ホームの場合は補助金が出ているので、税金がかなり注ぎ込まれているのです。どれぐらい利用されているかを調べていただいて、それに合ったものをつくってもらいたいと思います。450人は多いのではないかと思います。もう一つ、現場からいくと、人材育成とかそんなこと言っていないんですね。人材枯渇と言っているんです。そういうのも聞いていただいて、ぜひお願いします。</p> <p>（事務局佐藤（泰）部長）人材確保については、横浜市としても真剣に取り組んでいるところです。一方で、施設をせっかくつくったからには維持をしていく、オープンしていくことは必要だと思っていますので、横浜市も精いっぱい努力していきたいと思っています。また、繰り返しになりますが、今後の整備につきましては、いろいろな状況を見ながら、適切な水準となるように十分考えた上で進めていきたいと思っていますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>（伏見会長）ほかにご意見・ご質問等ありますでしょうか。本日予定した議題は以上になります。</p> <p>（事務局山本課長）次回第2回の保健医療協議会の開催につきましては、来年2月を予定しております。その間に病床整備、保健医療プランの部会を開催させていただく予定でございます。日程等はまたご案内させていただきます。</p> <p>（伏見会長）〔閉会のあいさつ〕</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 : 「よこはま保健医療プラン2024」の策定について</li> <li>・資料2-1 : 令和4年度 病床整備事前協議について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料 2－2：横浜市の病床の現状及び病床整備について</li><li>・資料 3：「よこはま保健医療プラン2018」2021年度単年度振り返りについて</li><li>・参考資料 1：横浜市保健医療協議会運営要綱</li><li>・参考資料 2：横浜市の保有する情報の公開に関する条例（一部抜粋）</li><li>・参考資料 3：よこはま保健医療プラン2018 振り返り評価シート</li></ul>
--	---